# 大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
# 実施状況報告書

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 選定年度 | 令和5年度 | 学校コード | F113310102920 | 設置等組織名 | 統計データサイエンス学環 |
| 大学名 | 青山学院大学 | 設置区分 | 私立 | | |
| 学校種 | 大学 | 都道府県 | 東京 | 事業計画名 | 青山学院大学データサイエンス系学部の設置構想 |

**１.年度別の計画及び取組状況**

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

| 事業期間 | 事業計画 | 取組状況 | 自己評価、課題（理由）とその対応 |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 1-① 令和５年５月～ 新設学部の基本設計、設置概要等を検討（構想委員会設置）<br><br>~~・令和6年1月～ ニーズ調査、他大学の事例調査等を実施~~（令和６年１月24日承認） | 1-① 令和５年５月 他大学の事例調査<br>1-① 令和５年７月 新学部設置に係る要件等を検討するための委員会を設置<br>1-① 令和５年７月～ 新設学部の基本構想を検討開始 | 令和5年度自己評価 【２】計画を十分には実施していない。<br>本学が今後備えるべきデータサイエンス教育の在り方について、学内での議論・検討が長期化したことに伴い、令和5年度にニーズ調査を実施できなかった。これに対応するため検討スケジュールを全体的に後ろ倒し、ニーズ調査を翌年度に実施する。 |
| 令和6年度 | ~~・令和6年4月～ 新設学部の詳細設計（カリキュラム、施設・設備、教員組織等）を検討（設置準備委員会設置）~~（令和７年３月28日承認）<br>~~・令和6年５月～ ニーズ調査、他大学の事例調査等を実施（令和６年１月24日承認）~~（令和７年３月28日承認）<br>~~・令和6年8月～ 学部設置に係る事前相談、収容定員変更に係る学則変更、学部設置届出等の資料作成~~（令和７年３月28日承認）<br>~~・令和6年11月～ 学部設置に係る事前相談~~（令和７年３月28日承認）<br>~~・令和7年3月～ 収容定員変更に係る学則変更の認可申請~~（令和７年３月28日承認） | 1-① 令和６年４月～ 新設する学位プログラムについて、設置形態を学部から学部等連係課程に変更して検討中。<br>これに伴い、届出を令和７年度から令和８年度に、開設を令和８年度から令和９年度にそれぞれ変更予定。（令和７年３月28日承認） | 令和6年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。<br>変更後の事業計画に基づき、令和6年度末まで学部等連係課程設置に向けた検討を学内で進めたため。 |
| 令和7年度 | 1-② 令和７年４月～ 新設する学部等連係課程のカリキュラム、施設・設備、教員組織等を検討（令和７年３月28日承認）<br>1-③ 令和７年５月～ ニーズ調査、他大学の事例調査等を実施（令和７年３月28日承認）<br>1-④ 令和７年８月～ 学部等連係課程の設置に係る事前相談、届出申請等の資料作成（令和７年３月28日承認）<br>1-⑤ 令和８年１月～ 学部等連係課程の設置に係る事前相談（令和７年３月28日承認）<br><br>~~・令和7年7月～ 共同研究・受託研究の実施に向けた提携先、PBL型授業等の実習先等の検討・調整~~（令和７年３月28日承認）<br>~~・令和7年6月～ データサイエンス教育対応型の教室を整備（教室様の改修、什器等の整備）~~（令和７年３月28日承認）<br>~~学生募集を開始~~（令和７年３月28日承認） | 1-② 令和７年４月～ 新設する学部等連係課程のカリキュラム、施設・設備、教員組織等を検討<br>1-③ 令和７年５月～ ニーズ調査、他大学の事例調査等を実施<br>1-④ 令和７年８月～ 学部等連係課程の設置に係る事前相談、届出申請等の資料作成<br>1-⑤ 令和８年１月～ 学部等連係課程の設置に係る事前相談を行い、3月に「届出による設置可」の回答を受領 | 令和7年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。<br>ニーズ調査、文部科学省への事前相談などの計画をすべて達成したため。 |
| 令和8年度 | 1後-④ 令和８年７月～ 共同研究・受託研究の実施に向けた提携先、PBL型授業等の実習先等の検討・調整（令和７年３月28日承認）<br>2-① 令和８年６月～ データサイエンス教育対応型の教室を整備（教室様の改修、什器等の整備）、学生募集開始（令和７年３月28日承認）<br><br>~~・令和8年4月～ 統計・データサイエンス学部開設予定（入学定員60人、理学、工学、経済学、社会学、社会福祉学関係）~~（令和７年３月28日承認）<br>~~・令和8年5月～ カリキュラム充実のための他機関との連携体制を構築（教育課程に係る連携協議会等の設置）~~<br>~~共同研究・受託研究の実施に向けた提携先、PBL型授業等の実習先等を開拓~~（令和７年３月28日承認） | | 令和8年度自己評価 リストから選択してください。 |
| 令和9年度 | 3-① 令和９年４月 学部等連係課程開設予定（令和７年３月28日承認）<br>3-② 令和９年５月～ カリキュラム充実のための他機関との連携体制を構築（教育課程に係る連携協議会等の設置）<br>共同研究・受託研究の実施に向けた提携先、PBL型授業等の実習先等を開拓（令和７年３月28日承認）<br><br>~~・令和9年度の取組を踏まえ、カリキュラムの検証・改善、共同研究・受託研究、実習形式の授業等を実施~~（令和７年３月28日承認） | | 令和9年度自己評価 リストから選択してください。 |
| 令和10年度 | 3-③ 令和10年４月～ 令和９年度の取組を踏まえ、カリキュラムの検証・改善、共同研究・受託研究、実習形式の授業等を実施（令和７年３月28日承認） | | 令和10年度自己評価 リストから選択してください。 |
| 令和11年度 | 3-④ 令和11年４月～ 令和10年度の取組を踏まえ、カリキュラムの検証・改善、共同研究・受託研究、実習形式の授業等を実施（令和７年３月28日承認）<br>~~・令和12年3月～ カリキュラム改善のための卒業時調査を実施~~（令和７年３月28日承認） | | 令和11年度自己評価 リストから選択してください。 |
| 令和12年度 | 3-⑤ 令和12年４月～ 令和11年度の取組を踏まえ、カリキュラムの検証・改善、共同研究・受託研究、実習形式の授業等を実施（令和７年３月28日承認）<br>3-⑥ 令和13年３月～ カリキュラム改善のための卒業時調査を実施（令和７年３月28日承認） | | 令和12年度自己評価 リストから選択してください。 |
| 令和13年度 | | | 令和13年度自己評価 リストから選択してください。 |
| 令和14年度 | | | 令和14年度自己評価 リストから選択してください。 |
| 認可申請<br>又は届出 | 令和８年４月 学部等連係課程設置届出申請予定（令和７年３月28日承認）<br><br>~~・令和7年4月～ 学部設置届出申請（令和７年３月28日承認）~~<br>~~・令和7年6月～ 収容定員変更に係る学則変更認可、学部設置届出受理（令和７年３月28日承認）~~ | 令和８年４月 統計データサイエンス学環（学部等連係課程）設置届出申請（入学定員60名、収容定員240名） | |
| 定員減又は<br>学部等の廃止 | ~~・令和11年4月～ 定員減員に係る届出予定（入学定員60人）~~（令和７年３月28日承認） | 令和８年４月 統計データサイエンス学環（学部等連係課程）設置届出において連係協力学部の定員の内数を次のとおり活用する旨を届け出た。<br>なお[]の人数が統計データサイエンス学環の定員に活用した内数である。<br>・教育人間科学部教育学科 入学定員188人【7人】 収容定員752人【28人】 教育学・保育学関係<br>・教育人間科学部心理学科 入学定員110人【3人】 収容定員440人【12人】 文学関係<br>・経済学部経済科 入学定員407人【5人】 収容定員1,628人【20人】 経済学関係<br>・経済学部現代経済デザイン学科 入学定員132人【5人】 収容定員528人【20人】 経済学関係<br>・経営学部経営学科 入学定員360人【30人】 収容定員1,440人【120人】 経済学関係<br>・経営学部マーケティング学科 入学定員160人【10人】 収容定員640人【40人】 経済学関係 | |

| フォローアップ対象年度 | 令和7年度 | 大学名 | 青山学院大学 |
|---|---|---|---|

**2.申請資格の確認**

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

| 申請資格の状況 | ⅰ） | ⅱ） | ⅲ） | ⅳ） | ⅴ） |
|---|---|---|---|---|---|
| すべての項目に該当していない | | | | | |

**3.申請要件の取組状況**

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化，体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

| 申請要件の状況 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦-1 | ⑦-2 | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| すべての項目が要件を満たしている | | | | | | | | | | | | | | |

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

| 項目 | 課題（理由） |
|---|---|
| | |
| | |
| | |

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

| 申請要件⑭について | 現在の状況 |
|---|---|
| ⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。 | 認定を受けておらず申請する意向もない |

**4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況**

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

**【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）**

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
□ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

| 申請時の計画 | 取組実績、進捗状況 | 課題（理由）とその対応 |
|---|---|---|
| データサイエンス教育の中でも実務現場に近い実習を伴う授業については，当該の技術的ノウハウを持った企業と協定等を締結し，授業教材や講師派遣等の提供や依頼を求める予定である．また，データサイエンティストは，非専門家に対して分析の概要や結果の解釈，分析結果から導かれた提案等を平易適切に伝えるプレゼンテーション能力が求められる．こうした演習については，銀行・証券系シンクタンクのコンサルティング部門に学ぶところが大きく，同様に協定等を結んだうえでPBL型授業の企画に支援を仰ぐ．また，企業の調査実務においては，質問紙の作成を含むアンケート調査や標本調査の設計に係る知見と経験が求められる．質問紙を作成するノウハウ，実査，結果集計と提案の導出，及びプレゼンテーションに至る全行程をPBL型授業とする予定であり，これには西内啓氏~~（データビークル）~~に監修を求める．また，公的統計のオンサイ利用を申請するとともに，総務省統計局及び独立行政法人統計センターと連携してオンサイト施設の運営を行うことで，オンサイト利用推進の取り組みにも寄与したい． | 令和7年度は、文部科学省への事前相談を進めるため、設置計画の具体化を行った。その過程で、企業連携による実践的教育、PBL型授業、実務家の参画、オンサイト施設整備の方向性を整理し、カリキュラム案や統計データサイエンス研究教育センターの構想に反映させた。また、西内啓氏については、特任教授として「リサーチデザイン」や「卒業研究」「統計データサイエンス演習」などを担当いただくこととなった。また、オンサイト施設に関しては、高性能計算機・サーバールーム等を含む施設整備計画の見直しを行った。 | |

**【B：多様な入学者の確保に向けた取組】**

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

| 申請時の計画 | 取組実績、進捗状況 | 課題（理由）とその対応 |
|---|---|---|
| 入試科目については学部独自に数学と情報の複合問題を出題し，入学後に必要な基礎学力を適切に見極めつつ，幅広い理系層が受験できるよう配慮する．特に女子学生（性別を女性と認識しているトランスジェンダーの学生を含む）については，学校推薦型選抜か，あるいは総合型選抜で入学定員10%程度の枠を設ける予定である．初等中等教育段階の学校との連携については，本学は一貫教育を実践している私立の系属校を有している他，同じキャンパス内に幼稚園から高校までの設置学校も擁している．そのためデータサイエンス教育では，高大連携をはじめとして，将来的には初等部の情報教育から一貫した連携体制を構築することが可能である．また従来より，本学には多くの高校から出張授業の依頼があり，そうした要望にも応える予定である．加えて，校友を含む社会人向けデータサイエンス関連セミナーやリスキリング研修についても，オンライン実施も含めて積極的に開催する予定であり，特に各種の研修プログラムを開発整備し，企業からの委託事業としても取り組む予定である． | 令和7年度は、入試科目及び入試種別の具体化を進め、一般選抜については、個別学部日程、全学部日程及び大学入学共通テスト利用入学者選抜を実施することとした。個別学部日程においては、独自問題として総合問題を課すこととした。<br>また、女子学生の確保については、学校推薦型選抜等を活用した方策を検討した。さらに、高大連携、出張授業、社会人向けデータサイエンス関連セミナー及びリスキリング研修については、申請時計画に基づき、今後の実施に向けた検討・整理を進めた。 | |

**様式１－３**

| フォローアップ対象年度 | 令和7年度 | 大学名 | 青山学院大学 |
|---|---|---|---|

**指摘事項等に対する対応状況を記載してください。**

| 年度 | 区分 | 指摘事項等 | 対応状況 |
|---|---|---|---|
| 令和6年度 | 実施状況報告書指摘事項 | 当初の計画を抜本的に見直すため、事業計画に遅れが生じている。設置構想の策定を急ぎ、<br>早急に開設に向けた取組を進めること。 | 令和8年1月に文部科学省への事前相談を実施し、同3月に「届出による設置可」の回答を受領した。これに基づき、令和8年4月に文部科学省への届出を行った。また届出日をもって正式に学生募集を開始した。今後は令和9年4月の設置に向けて、開設の準備を進めていくこととなる。 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

| 大学名 | 青山学院大学 |
|---|---|

| 本事業対象となる学部等の個数 | 1 |
|---|---|

**１.本事業対象となる学部等の状況**

**<内訳>**

**(1)**

| 改組内容 | 学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの） |
|---|---|
| 学部学科名 | 統計データサイエンス学環（工学関係） |

| 年度 | | | | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | R12年度 | R13年度 | R14年度 | R15年度 | R16年度 | R17年度 | R18年度 | R19年度 | R20年度 | R21年度 | R22年度 | R23年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 改組状況 | | | | 選定 | | | 届出 | 開設 | | | | | | | | | | | | | | |
| 大区分 | 小区分 | 項目 | 単位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事業計画に定める定員 | 入学定員 | 人 | | | | | 60 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 編入学定員 | 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学生の入学・在籍状況 | 春季入学 | 入学定員 | 人 | - | - | - | - | 60 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女子学生数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 社会人学生数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 留学生数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他の学期 | 入学定員 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女子学生数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 社会人学生数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 留学生数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 入学者合計 | 入学定員(A) | 人 | - | - | - | - | 60 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数(B) | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女子学生数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 社会人学生数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 留学生数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学定員充足率（B/A） | 倍 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 収容定員等 | 収容定員(C) | 人 | - | - | - | - | 60 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 編入学定員 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 在籍者数(D) | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 編入学者数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 収容定員充足率（D/C） | 倍 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| 卒業後の状況 | 卒業者数 | 卒業者数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教員の状況 | 実務経験のある教員の参画 | 教員数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 授業科目の単位数 | 単位 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |

| 大学名 | 青山学院大学 |
|---|---|

**２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況**

| 大区分 | 小区分 | 項目 | 単位 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | R12年度 | R13年度 | R14年度 | R15年度 | R16年度 | R17年度 | R18年度 | R19年度 | R20年度 | R21年度 | R22年度 | R23年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学生の入学･在籍状況 | 春季入学 | 入学定員 | 人 | 900 | 900 | 900 | 900 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数 | 人 | 943 | 982 | 936 | 918 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女子学生数 | 人 | 239 | 234 | 250 | 251 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 社会人学生数 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 留学生数 | 人 | 8 | 11 | 15 | 15 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他の学期 | 入学定員 | 人 | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数 | 人 | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女子学生数 | 人 | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 社会人学生数 | 人 | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 留学生数 | 人 | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 入学者合計 | 入学定員(A) | 人 | 900 | 900 | 900 | 900 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数(B) | 人 | 943 | 982 | 936 | 918 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女子学生数 | 人 | 239 | 234 | 250 | 251 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 社会人学生数 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 留学生数 | 人 | 8 | 11 | 15 | 15 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学定員充足率（B/A） | 倍 | 1.05 | 1.09 | 1.04 | 1.02 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 収容定員等 | 収容定員(C) | 人 | 3,570 | 3,600 | 3,600 | 3,600 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 編入学定員 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 在籍者数(D) | 人 | 3,772 | 3,930 | 3,989 | 3,992 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 編入学者数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 収容定員充足率（D/C） | 倍 | 1.06 | 1.09 | 1.11 | 1.11 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 卒業後の状況 | 卒業者数 | 卒業者数 | 人 | 764 | 820 | 876 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教員の状況 | 実務経験のある教員の参画 | 教員数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 授業科目の単位数 | 単位 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |

| 大学名 | 青山学院大学 |
|---|---|

### ３.大学（学士課程）の状況

| 大区分 | 小区分 | 項目 | 単位 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | R12年度 | R13年度 | R14年度 | R15年度 | R16年度 | R17年度 | R18年度 | R19年度 | R20年度 | R21年度 | R22年度 | R23年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学生の入学・在籍状況 | 春季入学 | 入学定員 | 人 | 4490 | 4490 | 4490 | 4490 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数 | 人 | 4733 | 4822 | 4812 | 4611 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他の学期 | 入学定員 | 人 | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数 | 人 | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 入学者合計 | 入学定員(A) | 人 | 4,490 | 4,490 | 4,490 | 4,490 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数(B) | 人 | 4,733 | 4,822 | 4,812 | 4,611 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学定員充足率（B/A） | 倍 | 1.05 | 1.07 | 1.07 | 1.03 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 収容定員等 | 収容定員(C) | 人 | 17930 | 17960 | 17960 | 17960 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 編入学定員 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 在籍者数(D) | 人 | 19242 | 19677 | 20051 | 20052 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 編入学者数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 収容定員充足率（D/C） | 倍 | 1.07 | 1.10 | 1.12 | 1.12 | | | | | | | | | | | | | | | |

### ４.外部資金の状況（全学）

| 年度 | | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | R12年度 | R13年度 | R14年度 | R15年度 | R16年度 | R17年度 | R18年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 改組状況 | | 申請−5年 | 申請−4年 | 申請−3年 | 申請−2年 | 申請−1年 | 選定 | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 単位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外部資金獲得額 | 千円 | 773,790 | 818,392 | 764,917 | 822,752 | 965,639 | 922,732 | 849,643 | 871,802 | | | | | | | | | | | |

| 項目 | 単位 | |
|---|---|---|
| 申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部 | 千円 | 804,978 |
| 本事業による助成金の額(F) | 千円 | 5,647 |
| フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%) | 千円 | 805,119 |

**特記事項**

no